

## 第 6 章 雇用表

## 1 雇用表の見方・使い方

### (1) 雇用表の概要

雇用表は、産業連関表の作成年の1年間の生産活動に投入された労働量を、従業者の地位別（個人業主、家族従業者、有給役員、常用雇用者、臨時雇用者）に区分し取引基本表の列部門ごとに年平均人数で表示したものである。

雇用表の各部門は事業所単位での分類ではなく、産業連関表の概念・定義に基づくアクティビティベース（生産工程や生産技術といった生産活動により区分した産業分類）を単位とした分類である。例えば1つの事業所が2つ以上の異なる製品を生産している場合、事業所ベースの分類であれば主たる生産物により産業が分類されるのに対し、アクティビティベースでは、それぞれの生産品ごとに産業を格付けすることとなる。

したがって、1人1業種を原則とする国勢調査やその他の統計と雇用表の雇用者数が異なって表示される場合がある。また、統計資料の制約上、厳密に区分することが困難な部門もある。このため、他の統計調査と比較する場合は注意が必要となる。

雇用表は作成年の就業構造を知ることができるだけでなく、産業連関表の投入構造や生産誘発額を用いて、就業係数や雇用係数、就業（雇用）誘発係数を求めることができる。

（121 ページ参照）

これらを用いて、生産活動における労働投入量、生産増加による雇用の発生量を計測することができる。

### (2) 雇用表の見方

雇用表の表側は、取引基本表の列部門と一致している。

また、表頭は、次のような、従業者の従業上の地位別内訳となっている。

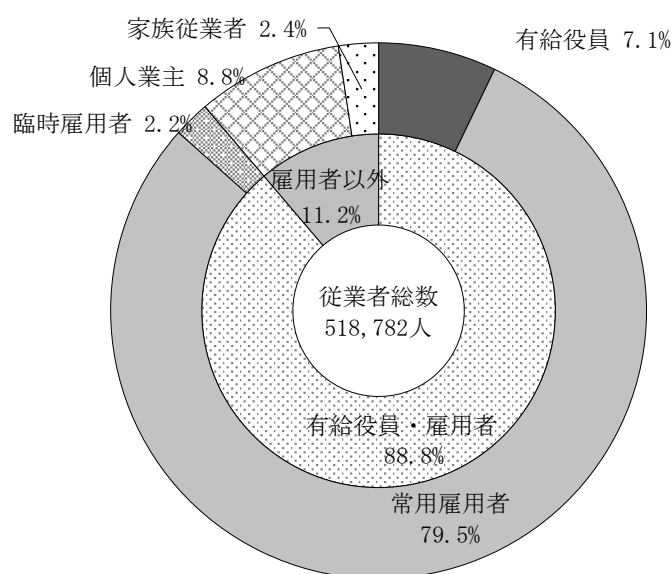
従業上の地位	定 義
個人業主	個人経営の事業所の事業主で、実際にその事業所を経営している者。
家族従業者	個人業主の家族で、賃金や給料を受けずに仕事に従事している者。一般の従業員と同等の賃金や給料を受けている者は雇用者に分類する。
有給役員	常勤及び非常勤の法人や団体の役員であって有給の者。役員や理事であっても、職員を兼ねて一定の職務に就き、一般の従業員と同じ給与規則に基づいて給与の支給を受けている者は、雇用者に分類する。
常用雇用者	期間を定めずに雇用されている者若しくは1か月を超える期間を定めて雇用されている者又は18日以上雇用されている月が2か月以上継続している者。この条件をみたす限り、見習、パートタイマー、臨時・日雇など名称がどのようなものであっても常用雇用者に分類する。休職者も含む。
正社員・正職員	常用雇用者のうち、一般に「正社員」、「正職員」などと呼ばれている者。
正社員・正職員以外	常用雇用者のうち、「パートタイマー」、「アルバイト」、「契約社員」、「嘱託」又はそれに近い名称で呼ばれている者。
臨時雇用者	常用雇用者以外の雇用者で、1か月未満の期間を定めて雇用されている者又は日々雇用されている者。

なお、表の中で参考として掲げている「1人当たり有給役員・雇用の雇用者所得」は次の算式により求めた。

$$1人当たり有給役員・雇用の雇用者所得 = \frac{\text{雇用者所得}}{\text{有給役員数} + \text{常用雇員数} + \text{臨時雇員数}}$$

### (3) 雇用表からみた県内の就業構造

令和2年の県内生産活動に従事した従業者総数は51万8,787人で、これは全国(6,870万7,839人)の約0.8%にあたる。これを従業上の地位別にみると、常用雇員が41万2,193人(県内従業者全体の79.5%)で最も多く、以下、個人業主4万5,731人(同8.8%)、有給役員3万6,994人(同7.1%)、家族従業者1万2,480人(同2.4%)、臨時雇員1万1,389人(同2.2%)となっている。



次に、37部門表により部門別の従業者総数をみると、商業が9万1,171人(構成比17.6%)と最も多く、医療・福祉7万2,415人(同14.0%)、対個人サービスの5万1,574人(同9.9%)などが続いている。

反対に最も少ないのは、情報通信機器の5人、続いて鉱業220人、業務用機械515人などとなっている。(「事務用品」及び「分類不明」を除く。以下同じ。)

また、本県の産業別就業構造の特徴を、従業者の部門別構成比を全国との比較で表した特化係数でみると、石油・石炭製品が2.89と最も高く、他にパルプ・紙・木製品(1.74)、電力・ガス・熱供給(1.70)などが全国水準を上回っている。反対に全国水準を下回っているものは、情報通信機器(0.00)、業務用機械(0.26)、情報通信(0.45)などである。

## 産業別従業者数、構成比、特化係数

列符号・名称	従業者総数		構成比		特化係数
	県	国	香川県 (A)	全国 (B)	(A/B)
01 農林漁業	25,953	2,506,729	5.0	3.6	1.37
06 鉱業	220	21,543	0.0	0.0	1.35
11 飲食料品	17,292	1,441,409	3.3	2.1	1.59
15 繊維製品	3,523	347,968	0.7	0.5	1.34
16 パルプ・紙・木製品	6,856	523,258	1.3	0.8	1.74
20 化学製品	3,713	501,819	0.7	0.7	0.98
21 石油・石炭製品	702	32,219	0.1	0.0	2.89
22 プラスチック・ゴム製品	5,132	640,179	1.0	0.9	1.06
25 窯業・土石製品	4,006	313,888	0.8	0.5	1.69
26 鉄鋼	1,261	276,622	0.2	0.4	0.60
27 非鉄金属	1,033	167,879	0.2	0.2	0.81
28 金属製品	7,350	809,925	1.4	1.2	1.20
29 はん用機械	4,135	392,925	0.8	0.6	1.39
30 生産用機械	4,697	765,831	0.9	1.1	0.81
31 業務用機械	515	264,854	0.1	0.4	0.26
32 電子部品	2,263	470,034	0.4	0.7	0.64
33 電気機械	5,807	560,791	1.1	0.8	1.37
34 情報通信機器	5	136,365	0.0	0.2	0.00
35 輸送機械	6,391	1,182,506	1.2	1.7	0.72
39 その他の製造工業製品	6,148	744,703	1.2	1.1	1.09
41 建設	39,048	5,128,662	7.5	7.5	1.01
46 電力・ガス・熱供給	2,289	178,574	0.4	0.3	1.70
47 水道	803	84,542	0.2	0.1	1.26
48 廃棄物処理	3,538	533,688	0.7	0.8	0.88
51 商業	91,171	11,629,177	17.6	16.9	1.04
53 金融・保険	12,267	1,707,426	2.4	2.5	0.95
55 不動産	8,139	1,403,617	1.6	2.0	0.77
57 運輸・郵便	30,625	3,503,207	5.9	5.1	1.16
59 情報通信	7,718	2,266,028	1.5	3.3	0.45
61 公務	20,432	2,030,676	3.9	3.0	1.33
63 教育・研究	23,138	3,494,771	4.5	5.1	0.88
64 医療・福祉	72,415	8,484,039	14.0	12.3	1.13
65 他に分類されない会員制団体	5,568	614,888	1.1	0.9	1.20
66 対事業所サービス	42,924	8,177,341	8.3	11.9	0.70
67 対個人サービス	51,574	7,355,962	9.9	10.7	0.93
69 分類不明	136	13,794	0.0	0.0	1.31
TOTAL	518,787	68,707,839	100.0	100.0	1.00

#### (4) 雇用表の使い方

雇用表は本県での就業構造の把握に有用なものであるが、これを取引基本表、逆行列係数表と連結することで、各部門の最終需要の変化がもたらす雇用への波及分析等を行うことが可能となる。

##### ① 就業（雇用）係数

就業（雇用）係数とは、各部門の従業者数（雇用係数の場合は、有給役員＋雇用者数）を対応する産業連関表の部門の生産額で除したものであり、1単位の生産を行うために投入される労働量を示すものといえる。

この計算式は、次式によって表すことができる。

$$\text{就業係数（雇用係数）} = \frac{\text{従業者数（有給役員＋雇用者数）}}{\text{県内生産額}}$$

この係数を利用することにより、ある産業の生産の増加に伴ってどれだけの労働力の需要が発生するかを、次式により計算することができる。

$$\text{労働力の需要増加} = \text{就業係数（雇用係数）} \times \text{県内生産額の増加分}$$

ただし、現実には、企業はまず余剰人員の活用や所定外労働時間の増加等により、生産額の増加に対応するものと考えられることから、生産額の増加は、労働力の需要増をもたらすとみることはできても、ただちに従業者数（有給役員＋雇用者数）の増加に結びつくとは限らない。

##### ② 就業（雇用）誘発係数

就業（雇用）係数の対角行列に産業連関表の逆行列係数を乗じたものである。

これは、ある産業に1単位の需要が生じた場合に、直接・間接的に各産業にどれだけ従業者（雇用者）の増加を誘発するかを示している。また、就業（雇用）誘発係数の列和は当該部門の1単位の需要発生による産業全体にあたえる就業者（雇用者）の誘発数を示している。

$$\text{就業（雇用）誘発係数} = \hat{L}[I - (I - \hat{M})A]^{-1}$$

ただし、 $\hat{L}$  は就業（雇用）係数の対角行列、 $[I - (I - \hat{M})A]^{-1}$  は逆行列係数

##### ③ 雇用分析の方法

前述の就業（雇用）誘発係数を用いることで、県内である産業に最終需要が生じた場合における、県内の従業者（雇用者）の誘発者数を計測することができる。

県内に最終需要が生じた場合、それは県内の生産だけでなく県外への生産（移輸入）も誘発することとなり、これを除くため最終需要額に県内自給率を乗じ、県内生産物に対する最終需要を求める。

県内自給率の対角行列を  $(I - \hat{M})$ 、各部門の最終需要額ベクトルを  $F$  とすると、県内生産物に対する最終需要は、 $(I - \hat{M})F$  であるから、就業（雇用）誘発係数にこれに乗ずることにより、県内の従業者（雇用者）の誘発者数を求めることができる。

$$\text{就業（雇用）誘発者数} = \hat{L}[I - (I - \hat{M})A]^{-1}(I - \hat{M})F$$

## 2 雇用表及び係数表

### (1) 雇用表及び就業係数・雇用係数 (13 部門)

列符号・名称	従業者 総数	個人業主	家族従業者	有給役員 雇用者	有給役員	雇用者
01 農林漁業	25,953	11,519	4,721	9,713	1,059	8,654
02 鉱業	220	8	1	211	50	161
03 製造業	80,829	2,982	883	76,964	5,330	71,634
04 建設	39,048	5,038	1,058	32,952	6,688	26,264
05 電力・ガス・水道	3,092	0	0	3,092	111	2,981
06 商業	91,171	4,324	1,735	85,112	8,049	77,063
07 金融・保険	12,267	245	15	12,007	527	11,480
08 不動産	8,139	1,207	274	6,658	2,626	4,032
09 運輸・郵便	30,625	1,016	181	29,428	1,645	27,783
10 情報通信	7,718	625	15	7,078	646	6,432
11 公務	20,432	0	0	20,432	0	20,432
12 サービス	199,157	18,767	3,597	176,793	10,261	166,532
13 分類不明	136	0	0	136	2	134
TOTAL	518,787	45,731	12,480	460,576	36,994	423,582

(単位：人)

				1人当たり 有給役員・ 雇員所得 (千円)	就業係数 (人/百万円)	雇用係数 (人/百万円)	
常用雇員	正社員・ 正職員	正社員・ 正職員以外	臨時雇員				
6,236	4,516	1,720	2,418	1,647	0.234153	0.087632	01
158	127	31	3	3,005	0.077166	0.074009	02
70,824	55,099	15,725	810	4,225	0.034934	0.033264	03
25,681	22,594	3,087	583	4,338	0.077278	0.065214	04
2,941	2,622	319	40	4,006	0.016015	0.016015	05
75,579	41,625	33,954	1,484	2,854	0.127089	0.118643	06
11,454	9,630	1,824	26	5,857	0.043666	0.042740	07
3,941	2,853	1,088	91	3,864	0.015185	0.012422	08
27,548	19,890	7,658	235	4,726	0.065593	0.063029	09
6,359	5,543	816	73	5,132	0.030515	0.027984	10
20,139	16,617	3,522	293	4,576	0.074636	0.074636	11
161,206	96,846	64,360	5,326	3,746	0.109525	0.097226	12
127	57	70	7	1,625	0.003754	0.003754	13
412,193	278,019	134,174	11,389	3,838	0.069095	0.061342	

## (2) 雇用表及び就業係数・雇用係数 (37 部門)

列符号・名称	従業者 総数	個人業主	家族従業者	有給役員 雇用者	有給役員	雇用者
01 農林漁業	25,953	11,519	4,721	9,713	1,059	8,654
06 鉱業	220	8	1	211	50	161
11 飲食料品	17,292	402	127	16,763	1,005	15,758
15 繊維製品	3,523	472	192	2,859	325	2,534
16 パルプ・紙・木製品	6,856	434	181	6,241	559	5,682
20 化学製品	3,713	9	5	3,699	103	3,596
21 石油・石炭製品	702	0	0	702	2	700
22 プラスチック・ゴム製品	5,132	173	36	4,923	227	4,696
25 窯業・土石製品	4,006	164	42	3,800	370	3,430
26 鉄鋼	1,261	56	13	1,192	127	1,065
27 非鉄金属	1,033	7	1	1,025	24	1,001
28 金属製品	7,350	335	56	6,959	718	6,241
29 はん用機械	4,135	67	17	4,051	227	3,824
30 生産用機械	4,697	92	23	4,582	429	4,153
31 業務用機械	515	6	2	507	41	466
32 電子部品	2,263	9	2	2,252	25	2,227
33 電気機械	5,807	70	10	5,727	218	5,509
34 情報通信機器	5	0	0	5	0	5
35 輸送機械	6,391	82	21	6,288	327	5,961
39 その他の製造工業製品	6,148	604	155	5,389	603	4,786
41 建設	39,048	5,038	1,058	32,952	6,688	26,264
46 電力・ガス・熱供給	2,289	0	0	2,289	110	2,179
47 水道	803	0	0	803	1	802
48 廃棄物処理	3,538	100	10	3,428	240	3,188
51 商業	91,171	4,324	1,735	85,112	8,049	77,063
53 金融・保険	12,267	245	15	12,007	527	11,480
55 不動産	8,139	1,207	274	6,658	2,626	4,032
57 運輸・郵便	30,625	1,016	181	29,428	1,645	27,783
59 情報通信	7,718	625	15	7,078	646	6,432
61 公務	20,432	0	0	20,432	0	20,432
63 教育・研究	23,138	38	7	23,093	191	22,902
64 医療・福祉	72,415	1,718	688	70,009	3,199	66,810
65 他に分類されない会員制団体	5,568	639	126	4,803	1,322	3,481
66 対事業所サービス	42,924	6,637	626	35,661	2,863	32,798
67 対個人サービス	51,574	9,635	2,140	39,799	2,446	37,353
69 分類不明	136	0	0	136	2	134
TOTAL	518,787	45,731	12,480	460,576	36,994	423,582



(単位：人)

				1人当たり 有給役員・ 雇用の 雇用者所得  (千円)	就業係数  (人/百万円)	雇用係数  (人/百万円)	
常用雇用者	正社員・ 正職員	正社員・ 正職員以外	臨時雇用者				
6,236	4,516	1,720	2,418	1,647	0.234153	0.087632	0
158	127	31	3	3,005	0.077166	0.074009	06
15,425	8,913	6,512	333	2,439	0.047660	0.046202	11
2,505	1,587	918	29	3,572	0.087524	0.071028	15
5,616	4,843	773	66	3,476	0.039351	0.035821	16
3,592	2,849	743	4	6,754	0.022479	0.022395	20
699	667	32	1	1,900	0.007782	0.007782	21
4,676	4,014	662	20	4,755	0.042707	0.040968	22
3,382	2,940	442	48	3,993	0.053780	0.051014	25
1,050	957	93	15	2,737	0.030734	0.029053	26
1,001	830	171	0	6,820	0.002438	0.002419	27
6,190	5,311	879	51	5,101	0.049733	0.047087	28
3,816	2,966	850	8	4,980	0.049835	0.048823	29
4,131	3,400	731	22	4,845	0.042703	0.041658	30
465	422	43	1	7,639	0.056631	0.055751	31
2,227	1,988	239	0	6,220	0.057021	0.056744	32
5,500	4,300	1,200	9	4,840	0.044706	0.044090	33
5	5	0	0	7,600	0.035461	0.035461	34
5,937	5,464	473	24	4,943	0.036304	0.035719	35
4,607	3,643	964	179	4,202	0.053272	0.046695	39
25,681	22,594	3,087	583	4,338	0.077278	0.065214	41
2,140	2,014	126	39	3,767	0.014625	0.014625	46
801	608	193	1	4,687	0.021960	0.021960	47
3,113	2,369	744	75	4,898	0.081431	0.078899	48
75,579	41,625	33,954	1,484	2,854	0.127089	0.118643	51
11,454	9,630	1,824	26	5,857	0.043666	0.042740	53
3,941	2,853	1,088	91	3,864	0.015185	0.012422	55
27,548	19,890	7,658	235	4,726	0.065593	0.063029	57
6,359	5,543	816	73	5,132	0.030515	0.027984	59
20,139	16,617	3,522	293	4,576	0.074636	0.074636	61
22,659	17,556	5,103	243	5,995	0.091045	0.090868	63
64,694	45,073	19,621	2,116	4,211	0.107006	0.103451	64
3,358	2,149	1,209	123	5,695	0.099806	0.086094	65
31,927	17,604	14,323	871	3,202	0.090065	0.074826	66
35,455	12,095	23,360	1,898	1,776	0.165474	0.127694	67
127	57	70	7	1,625	0.003754	0.003754	69
412,193	278,019	134,174	11,389	3,838	0.069095	0.061342	